

# マイクロマシン／MEMS 分野関連 【2019 年 10 月の経済報告】

令和元年 10 月 21 日

本稿は、マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

## 掲載内容

1. 全般動向（内閣府発表 景気動向指数より）
2. 各経済指標
  - ・内閣府公表 月例報告、機械受注統計調査報告 より
  - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

## 1. 全般動向

### ■ 景気動向指数（内閣府、令和元（2019）10 月 7 日発表） （令和元（2019）年 8 月分速報より抜粋）

8 月の CI(速報値・平成 27(2015)年=100)は、先行指数：91.7、一致指数：99.3、遅行指数：104.7 となった。

先行指数は、前月と比較して 2.0 ポイント下降し、2 か月ぶりの下降となった。3 か月後方移動平均は 1.10 ポイント下降し、14 か月連続の下降となった。7 か月後方移動平均は 0.65 ポイント下降し、15 か月連続の下降となった。

一致指数は、前月と比較して 0.4 ポイント下降し、2 か月ぶりの下降となった。3 か月後方移動平均は 1.03 ポイント下降し、3 か月連続の下降となった。7 か月後方移動平均は 0.16 ポイント下降し、10 か月連続の下降となった。

遅行指数は、前月と比較して横ばいとなった。3 か月後方移動平均は 0.06 ポイント上昇し、2 か月連続の上昇となった。7 か月後方移動平均は 0.03 ポイント下降し、2 か月ぶりの下降となった。

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。（景気動向指数の概要 pdf へ）

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/201908psummary.pdf>

## 2. 各経済指標

### ■ 月例経済報告（内閣府、令和元年10月18日（金）公表） （月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料より）

#### <日本経済の基調判断>

（現状）

- ・ 景気は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、緩やかに回復している。

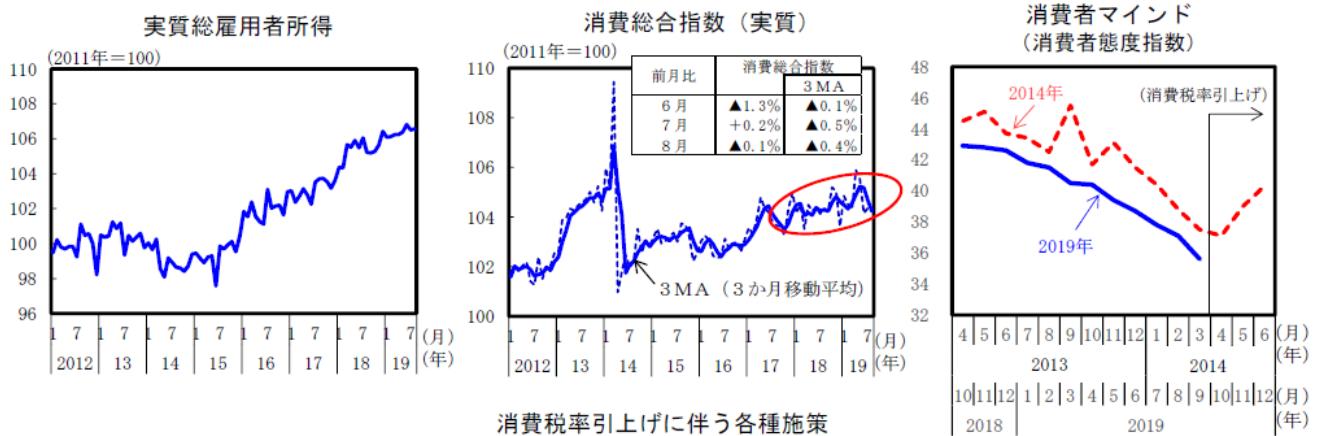
（先行き）

- ・ 先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る緊張、中国経済の先行き、英国のEU離脱の行方等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある。また、令和元年台風第19号など相次ぐ自然災害の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

#### 今月のポイント(1)

##### － 最近の消費動向－

- 今世紀に入り最も高い水準の賃上げが6年連続で実現し、雇用者数も増加する中で、実質総雇用者所得は緩やかに増加。こうした雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は持ち直している。
- ただし、消費者マインドは弱含んでおり、消費への影響には留意が必要。消費税率引上げに伴う各種施策が開始されており、引き続きその円滑な実施が重要。



- キャッシュレス・ポイント還元事業：参加事業者は約1,000社。10/11時点の本事業の対象となる登録加盟店数は、約52万店で、10/21には約61万店になる見込み。10/1～7の還元額は1日当たり平均約8億円、合計約60億円と試算。
  - プレミアム付商品券：ほぼ全ての自治体で10/1から商品券の利用開始。店舗規模の大小を問わず地域の幅広い店舗で利用可（全国の市区町村の合計で49.4万店（10/8時点））。
  - 自動車の購入に係る税制措置
  - 住宅の購入等に係る税制・予算措置
  - 幼児教育の無償化
  - 年金生活者支援給付金
  - 軽減税率制度
- 等

（備考）1. 左図及び中央図は、内閣府推計値（季節調整値）。  
2. 右図は、内閣府「消費動向調査」により作成。

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。（月例経済報告資料 pdfへ）

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2019/10kaigi.pdf>

■ 設備投資（令和元年 10 月 10 日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋）  
令和元年 8 月実績： 機械受注統計調査報告

1. 機械受注総額の動向をみると、2019（令和元）年 7 月前月比 0.1%増の後、8 月は同 11.8%増の 2 兆 6,319 億円となった。
2. 需要者別にみると、民需は前月比 15.0%増の 1 兆 2,486 億円、官公需は同 36.8%増の 3,744 億円、外需は同 21.3%増の 9,757 億円、代理店は同 2.5%増の 1,191 億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、2019（令和元）年 7 月前月比 6.6%減の後、8 月は同 2.4%減の 8,753 億円となった。このうち、製造業は同 1.0%減の 3,802 億円、非製造業（除く船舶・電力）は同 8.0%減の 4,773 億円となった。

対前月(期)比

(単位:%)

需要者	期・月	2018年 (平成30年) 7-9月 (実績)	10-12月 (実績)	2019年 (平成31年) 1-3月 (実績)	4-6月 (実績)	2019年 (令和元年) 7-9月 (見通し)	2019年 (令和元年) 5月 (実績)	6月 (実績)	7月 (実績)	8月 (実績)
受注総額		1.7	2.5	-10.4	1.1	7.3	-6.0	6.3	0.1	11.8
民需		1.2	-5.7	-0.9	7.1	0.0	-8.0	15.6	-6.5	15.0
〃（除船電）		1.5	-3.2	-3.2	7.5	-6.1	-7.8	13.9	-6.6	-2.4
製造業		-1.0	-4.1	-7.7	2.5	2.8	-7.4	-1.7	5.4	-1.0
非製造業（除船電）		3.4	-1.9	-0.3	13.1	-12.5	-9.0	30.5	-15.6	-8.0
官公需		17.9	-6.3	-24.1	40.4	19.2	19.5	-30.0	11.0	36.8
外需		-0.5	10.4	-12.3	-14.6	16.5	-0.8	6.7	-6.0	21.3
代理店		-0.6	4.4	-5.7	1.8	-16.8	0.4	-13.1	1.7	2.5

(備考) 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/1908juchu.html>

■ 鉱工業指数調査（経済産業省 2019年10月15日発表 より抜粋）

結果の概要【2019年8月分】

鉱工業指数（生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数）、製造工業生産予測指数  
 ～ 製造業の動きから見る日本の景気 ～

<概況>

- ・製造工業稼働率指数は、99.3で前月比-2.9%の低下であった。
- ・製造工業生産能力指数は、97.8で前月比0.0%の横ばいであった。

製造工業生産能力指数、2015年=100

生産能力	原指数		
	指数	前月比(%)	前年同月比(%)
	97.8	0.0	-0.7

製造工業稼働率指数、2015年=100

稼働率	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比(%)	指数	前年同月比(%)
	99.3	-2.9	92.4	-4.8

鉱工業指数、2015年=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比(%)	指数	前年同月比(%)
生産 (速報値)	101.5 (101.5)	-1.2 (-1.2)	93.6 (93.6)	-4.7 (-4.7)
出荷 (速報値)	101.2 (101.1)	-1.3 (-1.4)	93.4 (93.3)	-4.5 (-4.6)
在庫 (速報値)	104.4 (104.5)	-0.1 (0.0)	106.4 (106.5)	2.6 (2.7)
在庫率 (速報値)	110.5 (110.5)	2.8 (2.8)	118.0 (118.0)	8.7 (8.7)

なお、詳細は以下の経済産業省 HP をご参照下さい。

<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

<2019年8月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向>

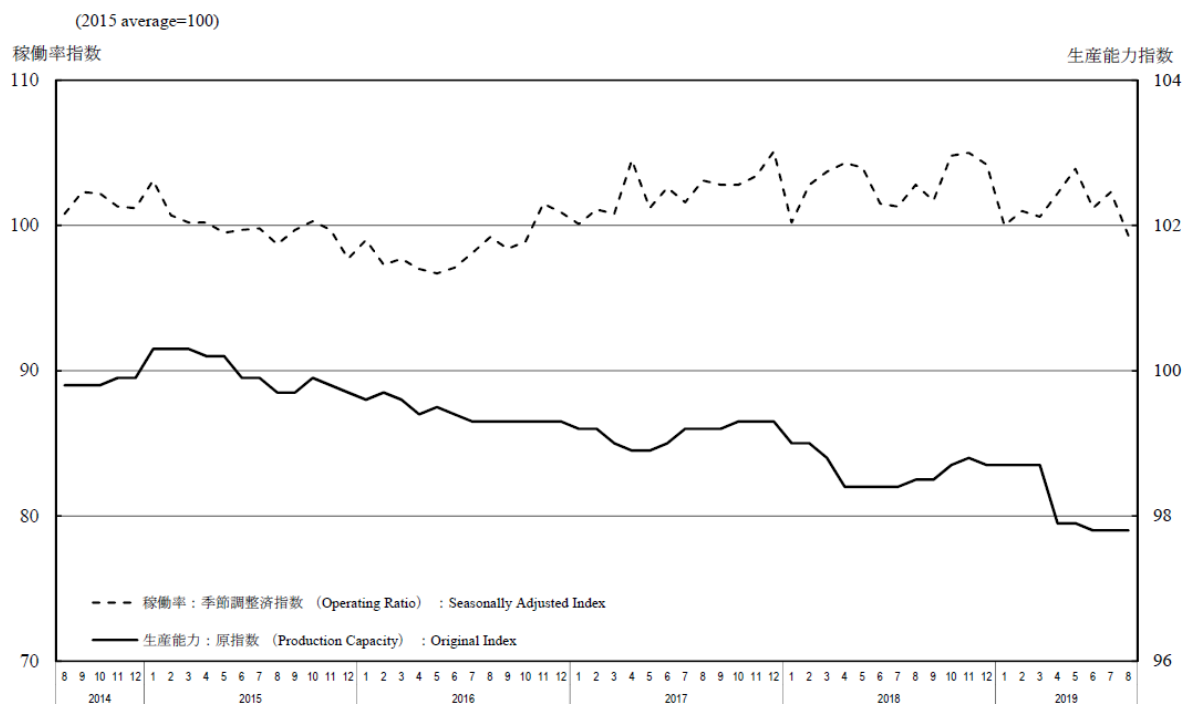
- (1) 8月の製造工業稼働率指数は、99.3で前月比-2.9%の低下であった。  
業種別にみると、生産用機械工業同-6.1%、鉄鋼・非鉄金属工業同-4.6%、輸送機械工業同-1.4%等が低下し、電気・情報通信機械工業同0.9%、化学工業同0.4%が上昇した。
- (2) 8月の製造工業生産能力指数は、97.8で前月比0.0%の横ばいであった。  
業種別にみると、生産用機械工業同1.2%が上昇し、電気・情報通信機械工業同-0.4%が低下した。

製造工業生産能力指数・稼働率指数の時系列表  
Historical Data for Indices of Production Capacity and Operating Ratio

index, 2015= 100

年 月	生産能力(末) Production Capacity			稼働率 Operating Ratio				Year and Month
	原指数 Original Index			季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		原指数 Original Index		
	前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)	前年 (同月期)比 %Change From Previous Year		前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)		前年 (同月期)比 %Change From Previous Year		
2016年	99.3		-0.4			98.5	-1.5	C.Y. 2016
2017	99.3		0.0			102.3	3.9	C.Y. 2017
2018	98.7		-0.6			103.1	0.8	C.Y. 2018
2016年度	99.0		-0.6			99.2	-0.1	F.Y. 2016
2017	98.8		-0.2			102.7	3.5	F.Y. 2017
2018	98.7		-0.1			102.5	-0.2	F.Y. 2018
2018年 II期	98.4	-0.4	-0.6	103.3	1.1	101.8	0.6	Q2 2018
III期	98.5	0.1	-0.7	101.9	-1.4	101.0	-1.1	Q3
IV期	98.7	0.2	-0.6	104.7	2.7	105.7	2.0	Q4
2019年 I期	98.7	0.0	-0.1	100.5	-4.0	101.5	-2.2	Q1 2019
II期	97.8	-0.9	-0.6	102.4	1.9	101.0	-0.8	Q2
2018年 6月	98.4	0.0	-0.6	101.5	-2.4	103.5	-3.3	Jun. 2018
7月	98.4	0.0	-0.8	101.3	-0.2	105.0	0.3	Jul.
8月	98.5	0.1	-0.7	102.8	1.5	97.1	-0.3	Aug.
9月	98.5	0.0	-0.7	101.7	-1.1	100.9	-3.3	Sep.
10月	98.7	0.2	-0.6	104.8	3.0	107.9	3.9	Oct.
11月	98.8	0.1	-0.5	105.0	0.2	107.2	2.9	Nov.
12月	98.7	-0.1	-0.6	104.2	-0.8	102.0	-0.7	Dec.
2019年 1月	98.7	0.0	-0.3	100.0	-4.0	97.4	-0.2	Jan. 2019
2月	98.7	0.0	-0.3	101.0	1.0	99.8	-1.8	Feb.
3月	98.7	0.0	-0.1	100.6	-0.4	107.2	-4.5	Mar.
4月	97.9	-0.8	-0.5	102.2	1.6	101.6	-0.5	Apr.
5月	97.9	0.0	-0.5	103.9	1.7	99.7	-0.1	May
6月	97.8	-0.1	-0.6	101.2	-2.6	101.6	-1.8	Jun.
7月	97.8	0.0	-0.6	102.3	1.1	107.6	2.5	Jul.
8月	97.8	0.0	-0.7	99.3	-2.9	92.4	-4.8	Aug.

製造工業生産能力指数・稼働率指数の推移(グラフ)  
 Historical Data (Graph) for Indices of Production Capacity and Operating Ratio



詳細は以下の経済産業省 HP をご参照下さい。(指数の動向資料 pdf へ)

[https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015\\_201908nj.pdf](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_201908nj.pdf)

### 3. その他の動向

#### ■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2019年9月30日発表より抜粋)

##### 【2019年7月概況】

- ・ 2019年7月のグローバル出荷額は3,197億円、前年比94.9%となり、前年比マイナスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品（前年比92.8% 1,329億円）、接続部品（同102.3% 876億円）、変換部品（同90.3% 556億円）、その他の電子部品（同93.7% 433億円）となった。
- ・ 地域別出荷は日本（前年比99.3% 786億円）、米州（同97.0% 327億円）、欧州（同94.8% 314億円）、中国（同89.1% 1,091億円）、アジア・その他（同99.2% 683億円）となった。

##### 【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2019.09.30 発表：毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2019年度						2019年度累計		
	5月		6月		7月		4月-7月		
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	
世界計	3,039	94	2,935	89	3,197	94	12,312	95	
(日本)	697	96	727	90	786	99	2,927	94	
品目別	受動部品	1,294	96	1,244	90	1,329	92	5,218	95
	コンデンサ	927	97	896	90	940	91	3,737	96
	抵抗器	121	90	117	83	125	89	494	89
	トランス	38	94	36	89	35	89	148	91
	インダクタ	203	95	191	92	225	101	826	97
	その他	2	74	3	97	2	72	11	81
	接続部品	819	97	798	92	876	102	3,310	98
	スイッチ	398	112	372	104	385	109	1,551	110
	コネクタ	416	86	421	84	487	97	1,741	89
	その他	4	84	4	91	3	68	17	85
	変換部品	525	95	521	87	556	90	2,139	91
	音響部品	117	98	116	75	116	79	465	78
	センサ	196	93	196	94	204	95	793	94
	アクチュエータ	212	97	207	89	236	91	879	97
	その他の電子部品	399	86	370	84	433	93	1,644	91
電源部品	159	88	157	84	169	94	651	88	
高周波部品	239	84	213	84	263	93	993	92	

##### 【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額

«2019年度»

地域別出荷金額 (億円)	2019年度						2019年度累計	
	5月		6月		7月		4月-7月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,039	94	2,935	89	3,197	94	12,312	95
日本	697	96	727	90	786	99	2,927	94
米州	346	103	310	95	327	97	1,332	100
欧州	346	102	304	88	314	94	1,305	97
中国	1,021	88	980	84	1,091	89	4,154	90
アジア他	631	97	616	95	683	99	2,612	100

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) HP をご参照下さい。

[http://home.jeita.or.jp/ecb/information/info\\_stati.html](http://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html)

以上